

# 2026 年度 3年次編転入学試験問題

(科目名:外国語(英語))

(法学部)

2025 年 11 月 9 日(日)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

次の英文を全て日本語に訳しなさい。

(出典: The Yomiuri Shimbun, Oct. 24, 2025 (抜粋及び一部改変))

【引用部分は削除しています】

\* the United Nations = 国際連合 (国連)、the U.N. Security Council = 国連安全保障理事会 (国連安保理)、  
the U.N. Charter = 国連憲章、veto power = 拒否権、the U.N. General Assembly = 国連総会

# 2026年度 3年次編転入学試験問題

(科目名: 専門科目(法学))

(法学部)

2025年11月9日(日)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

以下の新聞記事を読み、設問に答えなさい。いずれも字数制限はない。回答にあたっては、設問番号を付すこと。

【引用部分は削除しています】

(出典: 「旧優生保護法は「違憲」最高裁、強制不妊で国に賠償命令」日本経済新聞 2024年7月4日朝刊1ページ、一部改変)

設問1、

記事中の空欄(あ)、(い)に入れるべき適切な数字を答えなさい。

設問2、

記事を参考にしながら、本判決に関係する法的・社会的状況を説明しなさい。たとえば、旧優生保護法の歴史、同法の問題点、母体保護法との関係、障害者の権利に関する条約、本判決に至る下級審の判断、本判決の少数意見、本判決後の国の動向、補償立法など。

設問3、

本判決は、不妊手術の強制が「自己の意思に反して身体への侵襲を受けない自由」を保障する憲法13条に反するとした。他方で、不妊手術の強制が生殖の自由を侵害することについては触れていない。性と生殖に関する権利(リプロダクティブ・ライツ)について説明した上で、この権利をめぐる日本の問題について論じなさい。たとえば、どのような場面でいかなる権利が保障されていないか、この権利を保障するためにどのような制度が必要か、背後にどのような社会的・文化的問題があるかなど。